

手話に関する金沢市の主な事業・市民活動

手話を学びたい人は

手話奉仕員養成講座
(金沢市の事業)

手話ができる人を養成するために、金沢市では2年間の手話奉仕員養成講座を開催しています。入門課程では、初めて手話学習をする人を対象としたカリキュラムで指導します。手話の技術学習だけでなく、ろう者の生活や背景についても学びます。
(費用:年間10,000円程度(テキスト代など教材費))

手話通訳を依頼したい場合は

手話通訳等派遣事業
(金沢市の事業)

ろう者等への情報保障のために、医療・介護・生活相談など大切な話し合いの場に手話通訳者を派遣しています。利用するには条件がいくつかありますので、手話通訳派遣センター(金沢市聴力障害者福祉協会)へお問い合わせの上、ご依頼ください。(無料)

手話サークルの紹介

ろう者と手話を学ぶ人たちが集まって活動を行っている手話サークルがあります。手話での交流を深めたり、社会学習をしています。
(市民活動)

手話サークル 手の会

毎週木曜日13:00~15:00 場所:松ヶ枝福祉館(金沢市高岡町7-25)
☆ウェンズ会 毎月第2・4水曜日 10:00~12:00
場所:松ヶ枝福祉館(金沢市高岡町7-25)

金沢手話サークル あての会

毎週水曜日18:30~21:00 場所:松ヶ枝福祉館(金沢市高岡町7-25)
☆小立野あての会 毎月第1・3月曜日 19:00~21:00
場所:小立野文化会館(金沢市小立野4-7-51)
☆駅西あての会 毎月第2・4木曜日 19:00~21:00
場所:駅西むつみ体育館(金沢市駅西本町2-3-27)
☆西金沢あての会 毎月第1・3木曜日 19:00~21:00
場所:西南部公民館(金沢市西金沢3-684)

お問い合わせ先

金沢市福祉局 障害福祉課 金沢市広坂1-1-1
電話:076-220-2289 FAX:076-232-0294 メール:syoufuku@city.kanazawa.lg.jp

金沢市聴力障害者福祉協会 金沢市高岡町7-25 松ヶ枝福祉館内
電話:076-233-7729 FAX:076-233-9011 メール:mail@k-deaf.sakura.ne.jp

手話で話そう!



手話での「手話」

両手の人差し指の指先を
左右に向けて上下に置き、
糸を巻くように回転させる。

金沢市
金沢市聴力障害者福祉協会

手話は言語です。

「障害者の権利に関する条約」及び「障害者基本法」において手話は言語であると位置付けられています。

手話は、手や指、体の動き、表情などで表現し、目で見える言語です。

「金沢市手話言語条例」ができました。(平成29年6月27日施行)

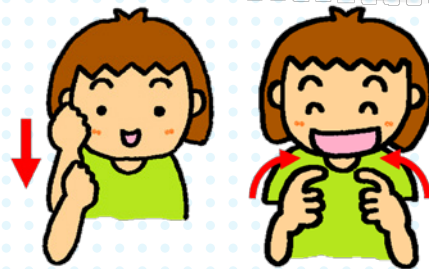
手話への理解の促進及び手話の普及を図り、ろう者とろう者以外の人が相互に人格及び個性を尊重し合いながら共生する地域社会を実現するため、手話への理解の促進及び手話の普及についての基本理念、市、市民及び事業者の役割、基本的な施策等必要な事項を定めたものです。

(金沢市手話言語条例の全文は、金沢市ホームページに掲載しています。)

手話で話してみましょ！

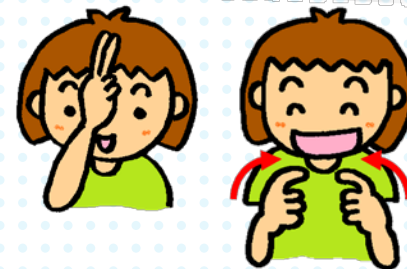
気持ちをこめて、表情豊かに伝えてね

おはよう



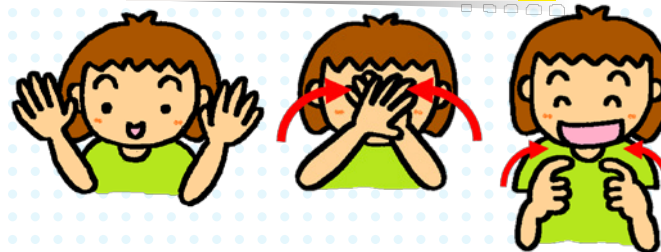
こめかみにあてた右手こぶしを下ろし、向かい合わせて立てた人差し指を同時に曲げる

こんにちは



右手2指を重ねて、額の中央にあてて、向かい合わせて立てた人差し指を同時に曲げる

こんばんは



てのひらを前に向けた両手を左右から引き寄せ、目の前で交差させ、向かい合わせて立てた人差し指を同時に曲げる

ありがとう



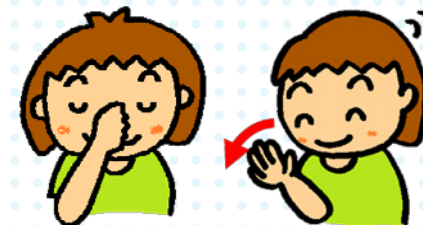
左の手の甲に小指側を直角にのせた右手を上げながら軽くおじぎする

おつかれさま



右手こぶしの小指側で左腕を2回たたく

よろしくおねがいします



鼻先においた右手こぶしを開きながら前に出し、軽くおじぎする

ろう者とは？

ろう者とのコミュニケーション方法は？

ろう者 「金沢市手話言語条例」では、聴覚に障害のある人のうち、手話を言語として生活している人と規定しています。

ろう者とのコミュニケーション方法

手話 手や指、体の動き、表情などで表現し、目で見える言語です。

指文字 指を使って五十音を表すものです。人名や地名などの固有名詞、手話で表現できない言葉を表すときに使います。

筆談 紙や手のひらなどに、字を書いてコミュニケーションをとる方法です。

ろう者も含め聴覚に障害のある人は、音によつての周囲の状況が判断できません。そのため、音声アナウンスなどに気が付かないことがあります。

たとえ手話ができなくても、ジェスチャーや指さし、わかりやすい短い内容での筆談などで、情報を聴覚に障害のある人に知らせてください。

話しかけるときには、後ろからではなく、前にまわって話しかけてもらおうと安心です。